

はつかいち環境講座

エネクリ見学

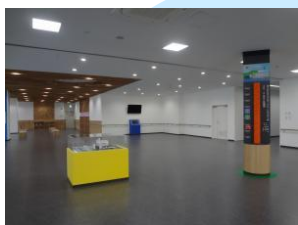
ごみについて考えよう

2026年1月12日（月）10：00～12：00

はつかいちエネルギークリーンセンター（木材港南12-8）

私たちの日常生活から出るごみは、集められた後どうなるのか見てみましょう。また、ごみも元は大切な資源でした。地球温暖化ともかかわりがあります。私たちの身近なところから環境問題について考えてみましょう。

1 集められたごみがどうなっていくのか見学します

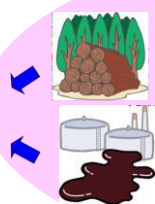


- 廿日市市で各家庭から集められたごみのうち燃やせるごみは、はつかいちエネルギークリーンセンターで燃やされています。
- 燃やすときに出る熱を利用して発電が行われており、はつかいちエネルギークリーンセンターで使う電気をまかなうほか、余った電力は電力会社に売っています。
- ごみがどのように燃やされ、発電されているか、見てみましょう。



本施設はごみの焼却熱を利用して発電を行い、施設内及び廿日市衛生センターで利用するほか、余剰電力は電力会社に売電します。また、隣接する都市ガス工場に温水による熱供給を行うことで地域で発生する二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止や循環型社会の形成に寄与する施設です。

2 日常生活から出るごみについて考えてみましょう



- ごみの多くを占める紙ごみとプラごみは、もともと何からつくられたものでしょうか？
- 世界では、紙の原料として毎年北海道ぐらいの大きさの森林が失われています。石油はあと50年ぐらいで採れなくなるといわれています。
- 森がなくなり、石油を使って地球温暖化になるのは誰のせいでしょうか？
- もし石油がなくなったら、私たちの生活はどうなるのでしょうか？
- リサイクルすれば、ごみをたくさん出しても構わないのでしょうか？

